

情報連絡員報告を中心とした

# 県内の中小企業動向

平成28年8月期

情報連絡員50名 回答数50名

## 全体概要 【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。  
 (「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

### 前月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は2から1に減少。「減少した」業種は3から13に増加。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は8から10に増加。「減少した」業種は8から11に増加。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は0から1に増加。「悪化した」業種は14から10に減少。

### 前年同月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は3のまま変化なし。「減少した」業種は10のまま変化なし。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は7から3に減少。「減少した」業種は12から15に増加。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は1から2に減少。「悪化した」業種は19のまま変化なし。

## 製造業

### 豆腐製造

【県内全域】

毎週のように台風が発生したため客足、製造数量等全体的に影響を与えた。国産大豆の落札価格が前年より下がっている事は良いのだが、天候による売上への影響が大きすぎた。業界の動きについて、営業許可の期限終了、機械の故障、高齢化による事が要因により廃業される店が増えてきた。

### 酒類製造

【県内全域】

前年比・前月比とも減少。ただし、価格帯が比較的高い特定銘柄酒は引き続き好調。

### 製材

【木更津】

8月はロシア船1隻入港、他の入港はなし。在庫数量は減少傾向。

### 印刷

【県内全域】

先行きの暗さは変わらない。紙の出荷量が減っている。しかし、紙メーカーは値上げの効果で増収増益。大日本印刷が印刷技術による有機ELの量産化へ。昨年度の景気対策で実施されたプレミアム商品券の発行が見送られた。

### 電気鍍金

【県内全域】

8月は稼働日数が減少のため、毎年前月より減少するが、仕事量

のパイは年々減少している。

### 鉄工

【千葉】

景況の変化について、景気全体に先行き不透明感が強まっている中、組合員各社の「現状から脱したい」との期待感とは裏腹に、はっきりしない流れが続いている。

### 機械部品製造

【野田】

景況の変化について、一部の業種では、業績が前月よりは好転したが、多くの業種では変わらず。

### 機械部品製造

【流山】

景況の変化について、休みの関係もあり、全体的に受注が少ないうちである。

### 機械部品製造

【柏】

昨年は、7月以降受注減。今年は8月以降受注増。業界動向は、医療・工業用マシン・開発試作の引き合いが伸びている。雇用、技能・技術・人材の採用ができないことが課題。

### 金属製品

【船橋】

景況感は停滞が続いている。

### 碎石

【県内全域】

前月比でズリの出荷量は30%の落ち込みである。都知事が変わった関係で港湾工事も3年程度見込めない状況である。横浜港南本牧埠頭関連で年度末に若干の硬質砂

岩の出荷が見込まれる。

### 【土砂採取】

【県内全域】

ここ何ヶ月か変化はなく、オリンピック特需はまだ実感できない。低出荷状況は本年度中は継続すると思われる。前年同月に比べ売上、出荷とも大幅な下落傾向にあり、立ち直りの兆しがなく、低出荷状況は本年度中は継続すると思われる。

### 非製造業

### 【総合卸売】

【千葉県・東京都】

【総じて】、盆休みの影響で売上は前月比若干減少。【種類卸】猛暑にも関わらず、ビール・ビール系飲料の出荷量が前年比葉4%減少（要因不明）

### 【食肉卸売】

【千葉市他】

景況の変化は、前月と変わりません。業界動向は、酪農家の減少が進んでいることから、牛の屠畜頭数が減少している。豚の病気（PED）も終息していないので、豚の生産頭数の減少が続いている。

### 【建築材料卸売】

【県内全域】

民需、官需共に激減。契約残も減少。新規無し。極めて悪化している。しかも、当分の傾向は続く。特に千葉、首都圏は無論、全

国でも最も低迷する懸念がある

### 【自動車解体】

【県内全域】

スクラップ価格はわずかに上昇しているが、前年までは届かず。廃車発生は少ないため仕入れ価格は高止まり。

### 【乾物卸売】

【県内全域】

景況の変化について、変わらず低調。

### 【卸売】

【茂原】

台風や地震の影響で消費はあまり芳しくありません。残暑の影響もあるのでしょうか。

### 【電気機器小売】

【県内全域】

景況の変化について、天候不順のため、期待のエアコンの販売が厳しかった。全体の販売も下がっている。

高齢者宅の家電無料安全点検を9月に実施するための企画会議を開催した。

### 【青果小売】

【千葉】

果物は例年より早出となり、順調な入荷に対してきた日本を台風が毎週のように通過しているため、野菜は被害が少しずつ出てきている。9月度はその影響が避けられないと考えている。

### 【中古車仕入・販売】

【県内全域】

特に変化を感じることはない

が、中古車の流通量は若干増えていく。ボーナス時期後の買い替えによるものと思われる。

### 【小売】

【東金】

ファッション関連品は、減少。特に後半の動きがなかった。日用品関連は減少傾向が続いている。食品関係は、相変わらず客数減で苦戦をしている。飲食関係は、客数が若干減っているので売上が減少傾向にある。

### 【小売】

【野田】

夏物バーゲン・お中元・お盆商戦の盛り上がりも鈍化傾向にある。儉約・節約傾向が、ますます強くなっているようだ。

### 【小売・サービス】

【柏】

長期で見ると地域の高齢化が商売に大きく影響していると思われる。40代以下の購買層がショッピングセンターへの依存、ネットでの購入等で地域商店街での商品購入は飲食以外での買回り品は完全先細り状態。唯一顧客化している層も高齢化で来街しづらい、亡くなった等の例を多く聞く。8月の景況は後半の天候不順で良いという声は聴かない。最近繊維不況もあり、有名メーカーへの他業種からの資本参加や子会社化が見られ

るようになり業界再編が進みつつあるように見られる。低価格化はますます進行中。

### 【遊覧船】

【鴨川】

景況の変化について、台風による欠航が9日（前年同月6日）あり、経営的に厳しい月となった。

### 【学習塾】

【県内全域】

景況の変化について、夏期講習によりやや好転した。

### 【土木建築サービス】

【県内全域】

景況の変化について、4～6月期GDP速報値は年率換算0.2%増と、かろうじて2四半期連続のプラス成長となったが、柱となる個人消費はふるわず、マイナス金利や補正予算などの政策効果が下支えしたのが実態である。円高や輸出が企業の設備投資を下押ししており、国内景気は足踏み状態が続いている。

### 【貨物運送】

【野田】

景況の変化について、8月の売上は前月比は伸びましたが、前年同月比は減少状況であった。その他は変わりありません。